

Q

ステンレスのシンクも割れることがあるの？

A

腐食(さび)環境にあると、ステンレスのシンクも割れる(ひびが入る)ことがあります。ステンレスのシンクが割れるということから、物理的に強い力が加わり発生した現象のように思われますが、腐食によって起きる現象です。

腐食が進行し割れに至るまでには、ある程度の期間(数か月～数年)が必要となりますので、割れを防ぐためには腐食が進行する環境を継続させないことが重要です。さびた状況を長期間放置したり、さびを落としても再びさびるようなことが続く場合、注意が必要です。

割れの原因となる腐食は、塩素分の残留によって起こります。

排水口に常時設置するタイプのヌメリ取り剤を使用している場合は使用を中止、他にも「まぜるな危険」の注意表記のある薬剤等の継続的な使用にも注意してください。



解説

この現象は、応力腐食割れ(SCC : Stress Corrosion Cracking)と呼ばれており、キッチン以外のステンレス等の金属の加工品でも発生します。

キッチンで使用されているステンレスのシンクの多くは、「深絞り(ふかしぼり)」と呼ばれる加工技術で成形されますので、加工後のシンクに残る内部の応力のため、応力腐食割れは、シンクのコーナー部分が縦に割れるという特徴があります。

なお多くの場合、腐食は赤いさびを伴いますが、さびが分かりにくい軽度の腐食環境でも発生する場合があります。

また割れが顕在化するのに一定の期間(多くの場合数年)がかかりますので、経年不具合とみることもできますが、古い製品で発生しやすいということではなく、腐食環境にあれば新しい製品でも発生します。

一口メモ

割れたステンレスのシンクは、基本的に修復することができません。

対応としては、天板交換等費用が高額となる場合が多いので、割れの発生を未然に防ぐよう日常管理に留意願います。